編　集　後　記

このたびは、外国語教育論集第 49 号を皆さまに無事お届けできるに至ったことに、幾重もの感慨を抱きながら、この文章をしたためております。

まずひとつには本号が、当研究室の前室長としても本学の語学教育にご尽力くださった寺尾格教授 (国際コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科) の退職記念号であるという祝福と惜別の念があります。本号には柴田隆先生が、「寺尾先生のこと」をご寄稿くださいました。

また、いまひとつには、今年度の早春から世界中が新型ウイルスの感染拡大に見舞われたという事情があります。そのため CALL 教室も使用を控えねばならなくなりましたが、国内外から六人の先生がたがご寄稿くださった実り豊かな研究の成果は、こうした苦難の日々のなかで私たちにとって貴重な励ましとなるものでしょう。

顧みれば、本学では今年度から国際系の新学部もスタートいたしました。異邦の言葉どうしのふれあいを探求しかつ教える者のひとりとして、言葉のもつ力が「ソーシャル・ディスタンス」や国境を越えうる可能性をますます見つめなおしてゆかねばならないと思われるしだいです。

最後にこの場をお借りして、ご執筆くださいました先生方をはじめ、編集にご協力いただいた委員の方々、そして例年にもまして大変な状況のなか温かく進行を支えてくださった教務課 CALL 事務室の方々に厚く御礼申し上げます。

第 49 号 編 集 委 員 会

委員長　　下　澤　和　義
委員　　　末　廣　　　幹